



図書館 だより

図書館 ☎69♦3706

「おしえて!図書館」

Q 蒲郡の歴史について知りたいんだけど?

A 蒲郡にはたくさんの歴史の逸話があります。縄文の古代から昭和・平成の現代までおもしろい話が残っているんですよ。まずはどんな時代のどんなことが知りたいか教えてくださいね。

蒲郡という市はこんな風にできてきた、という歴史を知りたいならこんな本はいかがですか?



図説がまごおりの歴史

蒲郡市博物館／編
蒲郡市教育委員会

小学校6年生から中学校3年生用の歴史補助教材として作られました。平成18年に発行された『蒲郡市史 本文編』全4巻を集約し、カラー写真付きで分かりやすく解説してあります。

Q 蒲郡の戦時中のことがわかるようなもの
はある?

A 戦争中の蒲郡の様子については『蒲郡市史 本文編3』に戦後復興までの詳しい記述が載っています。また戦争体験を書いた手記などもあります。体験記として一度読んでみてほしいのが、こちらの本です。



大場栄と峯子の 戦火のラブレター

大場 栄／著
大場峯子／著
これから出版

「おまえは元気か、子供も元気か、手紙をくれ」日中戦争に徴兵された大場栄と、残された妻峯子の1937年から7年間にわたる書簡を収録。戦地と故郷を行き来するラブレターから当時の様子を垣間見る。

蒲郡に関する資料はほかにもたくさんあります。神社のこと、お祭りのこと、出身の著名人…。どんなことが知りたいか、具体的に教えてくださいね。お気軽にレファレンスカウンターへお越しください。

「苦潮(にがしお)」

■苦潮とは

先日、形原から西浦の海にかけて「苦潮」が発生しました。苦潮とは三河湾での呼び名で、東京のほうでは「青潮」、正式名称は「貧酸素水塊」です。海底の酸素の少ない水が塩分濃度や温度、潮の流れなどの関係で海面へ浮上してくる現象で、酸欠によって生き物が水面に力なく浮いてきます。三河湾ではこの苦潮と赤潮がよく発生します。

■夕飯のおかず

苦潮で酸欠状態になった魚は元気がなくて簡単に掬えるので、近所の方たちは海に集まりワイワイ言いながら魚を採ります。夕飯のおかずが一品増えるわけです。キスやメバル、セイゴ、クルマエビなどが大漁。採れた魚は通常の海水に戻せば元気になるので、水族館では急いで新鮮海水を準備して飼育職員総出で生き物を採ります。もちろん、食べるわけではなく展示は充実し、夕飯のおかずも



水族館



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎68♦2059

増えますが、苦潮や赤潮は海が汚れているから起こる現象。環境破壊が原因の、海にとっては不健康でまったくもって良くない悲しい現象です。

■なぜ苦潮を知るのか

不思議なのは、水族館の私たちが苦潮や赤潮で海へ行くとすでに海岸にはかなりの方々が大騒ぎで魚を採っていることで、なぜこの人たちは苦潮が起こったことを知っているのか。

普段、海へ行くと蒲郡の海はどこも地元住民は少なくガラんとしているのですが、ひとたび苦潮や赤潮が起こると大勢の人が海へ押し寄せます。苦潮が発生し魚が採れることを知らせる何か特別な緊急連絡網があるのだろうか。「蒲

郡海岸状況把握協会」とかいいうものがあって、苦潮が発生したら本部に知らせているのだろうか。同じような蒲郡の不思議現象は、新築の家が行う儀式の「たてまえ」や、お祭りの「餅投げ大会」で、この場合はいつもどこにこれだけの数がひそんでおるのだろうか、と思うほど大量の人が大集結しますよね。これも「蒲郡地域餅投げ情報周知組合」とかがあるのだろうか。こういう人たちは普段の行動からは想像もつかないほどの驚くべきスピードと俊敏性で餅やお菓子を拾うと、またゆっくりそれぞれどこかへ帰ってしまい、町に静寂が戻ります。あれはいったい何なのでしょう。